

キシリトール
Talk!

私の医院では、治療に来院される患者さんに「健康で丈夫な歯」を保つためのキシリトール習慣をお勧めしています。具体的には食後の歯磨きのあとや就寝前にキシリトール入りのガムを噛むこと。またガムを噛むのがむずかしい子ども、高齢者、障がいをもつ方々には、「キシリトール配合タブレット」をお勧めしています。



しらかば歯科クリニック 院長
小川 真彦先生 編

キシリトールとは、白樺や樺の木などから作られる虫歯の原因にならない甘味料のことです。キシリトールにはお口に含むだけで歯の再石灰化を増強してくれる働きもあるので、歯の健康プラス丈夫な歯を望まれる方にはまさに理にかなったアイテムと言えるでしょう。

©日本フインランドむし歯予防研究会
お問合せ先 03(5810)7916

キシリトールで特保は
ロッテキシリトールガム
だけ! ※機能成分として

消費者庁許可特定保健用食品

●むし歯のない社会へ。

LOTTE

XYLITOL

キシリトールガム<ライムミント> 粒ガム・ボトル

安野 あの人芝居のポスターは、なかなか描けないんですよ。だって原稿がないんだから。

阿川 伝説的な遅筆でいらしたから。

安野 ある日、井上さんから電話がかかってくるんです。「今度の芝居は『長屋の仇討』という題でいこうと思うんだ」と言うんだけど、まだ何も書いてない。それどころかどんな内容なのか、本人もわかってない。たぶん、彼にとつて題名はスローガンだったんでしょね。『長屋の仇討』という旗のもとに演出家も役者もみんな集まって、何をやるのかわからないけど、とりあえず張り切る。

阿川 張り切る!

安野 で、私は『長屋の仇討』と聞いて、堀部安兵衛がダアッと高田馬場に駆けつける場面が浮かぶ。それを描く。そしたらね、ある日神田の古本屋街に行ったらそのポスターが貼ってあって、チケットも売ってるんですよ。

台本はまだでき上がってないのに。

阿川 ナヌツ!

安野 で、井上さんからまた電話がきて「題名を変えようと思う。『イヌの仇討』でどうだ」と言うんです。四日間で描き直すはめになりました。

阿川 お怒りにならないんですか、そういうとき。

自由な絵をいつもいつも描くのも、それはそれで骨が折れる。

阿川 ご人徳というか……。

安野 一番大変だったのは、『図書』（岩波書店）で、井上さんの連載小説に挿画を描いたときですね。案の定、初回から全然原稿が来ない。しょうがないので、編集者が梯子かけて二階の窓から覗いて、「あ、書いてる書いてる」という場面を描きました。

阿川 苦肉の策(笑)。

安野 ま、怒ってる暇はないんで(笑)。そういうことが一度ならずありました。でも、芝居ができあがってみれば、やっぱりいいんですね。だからもう懲り懲りだとか、そういう思いはなかった。それは私だけじゃなくて、他の人も同じだったんじゃないかな。ほんと憎めない人だったし。

阿川 それは、井上さんの原稿が足りなかったためのために?

安野 そう。ところがほんとにそれを使うときが来たんです。私は冗談のつもりだったんだけど。

阿川 壮絶な話だなく。安野さんご自身、締切に苦労されたことはないんですか。

安野 ないです。絵でも原稿でも、締切が来る前にやっちゃう。

阿川 エライ!

安野 エライというか、注文されたものを早くやらないと、注文されてないものができないからですよ。

阿川 あ、ご自分の描きたいものを描くために。

安野 そう。

阿川 以前、谷川俊太郎さんにこのページに出ていただいたとき、「詩は思ったままを書けっていうけど、自分の場合はたとえば『四月だから桜の詩を書いてください。文字数はこれだけ

